

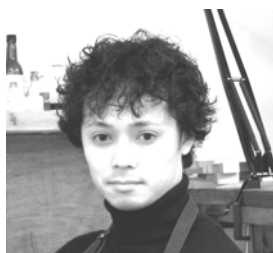
地元で活躍する演奏家と作家が生み出す弦楽器による演奏と展示

2012 弦 展

GEN TEN



ヴァイオラ奏者 生原 幸太



製作家 岡野 壮人

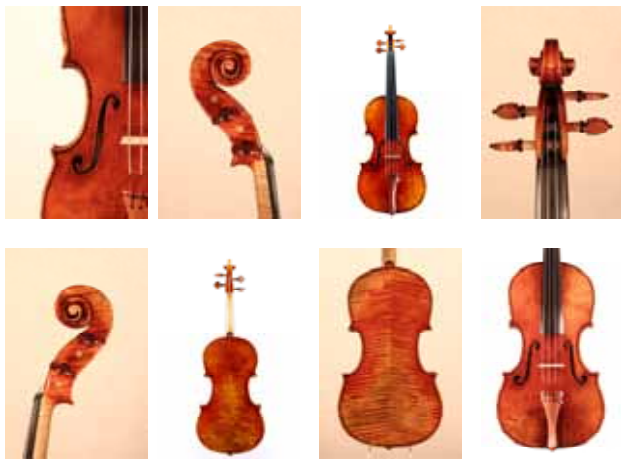
- 展示会場 みささ美術館 〒682-0123 鳥取県東伯郡三朝町三朝 199-1
- 展示期間 平成24年 6月1日(金) ~ 7月23日(月)
- 演奏日 6月15日(金) 16日(土) 22日(金) 23日(土) 29日(金) 30日(土) 7月6日(金) 7日(土) 13日(金) 20日(金) 21日(土)
- 演奏時間 上記演奏日 17時より30分間
- 主催 弦楽器製作工房 VIOLIN ATELIER OKANO ・ ヴィオラ演奏家 生原幸太
- 後援 三朝町 ・ 三朝温泉観光協会 ・ 藤井酒造合資会社
- コンサート当日は、ドリンクサービスとして藤井酒造合資会社のオリジナル甘酒が楽しめます。
- 問い合わせ 三朝町役場 企画観光課 (0858)-43-3514 生原 080-3642-8219



弦楽器製作に関する道具、木材、ニス原料、書籍、製作過程を展示、ヴァイオリンのための小型のものからチェロのための大型の道具や、ニスが塗られていない白木の状態で過程を見ることができ、ヴァイオリンの構造、作り方等が分かる。

2011年より、鳥取ヴァイオリン製作学校が開校。現在一期生となる生徒が通っている。小さなアトリエの中で木と向かい合い楽器の製作、修理、調整を勉強しながら物事に対する考え方を学んでいく。

師弟制度で、年2人が定員。カリキュラムはドイツのヴァイオリン製作の聖地、ミッテンヴァルトにある弦楽器製作学校の内容を更に強化、ヨーロッパに点在する伝統ある製作学校レベルを追求。本当のプロフェッショナルになるための修業の場として山陰初の弦楽器製作学校。



レプリカ製作楽器を展示。イタリアの巨匠、ガルネリ・デル・ジェス 1698～1744 クレモナで活躍した製作家の作品をレプリカ製作したもの。レプリカ製作とは約300年前の製作法で作られること。弦楽器製作を大きく分けると、新作製作、モデル製作、レプリカ製作と3種類に分類。

当時のナイフ、鑿(のみ)等、刃先のカーブを調整して道具から再現し製作していく。裏板、横板、表板、通常の製作とは組立てる順番も異なる。寸法やアウトラインを同じくするだけではその特徴は表現できない。道具を使う時の癖なども再現してこそ作風が出来上がっていく。

現代の便利な道具等を使用すると全く異なるものになってしまう。機械では絶対不可能な製作法にこそ価値がある。国内ではまだ珍しい製作スタイル。

製作家 おかの たけひと 岡野 壮人

[代表作]

- 2008年製作 ガルネリ・デル・ジェス Leduc 1745
- 2010年製作 ガルネリ・デル・ジェス Ole Bull 1744

[略歴]

1981年鳥取県倉吉市に生まれる。2000年無量塔蔵六主宰の東京ヴァイオリン製作学校、Tokyo Violin Making School に入学。卒業後、無量塔蔵六氏、Andreas Preuss 氏に師事、製作、調整、修理、そして、修復技術を学ぶ。フランスで研修後、鳥取にて独立。県内にて弦楽器普及活動を行いながら、楽器製作に力を入れる。

2011年より、鳥取ヴァイオリン製作学校を開校。



6月15日(金) 16日(土)

ディッターズドルフ：ヴィオラとコントラバスのための二重奏曲
ロッシェニ：チェロとコントラバスのための二重奏曲より ほか

6月22日(金)

A.ロッタ：2台のヴィオラのための二重奏曲
J.M.ルクレール：二重奏曲 ほか

6月30日(土)

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 二短調 BWV1008 ほか

7月7日(土)

キラキラ星とたなばた様がドッキング！
A.ドヴォルザーク：ユモレスク ほか

7月20日(金) 21日(土)

G.F.ヘンデル：パッサカリア
E.イザイ：無伴奏ヴァイオリンソナタ ほか



演奏家 いくはら こうた 生原幸太

[経 歴]

鳥取県北栄町出身。5歳よりヴァイオリンを始める。早稲田大学在学中の19歳当時、ヴィオラの渋くて落ち着いた音色に魅せられ、すぐに転向。就職の時期になり、「オレの進む道はこれしかない！もう一度やり直したい！」と八 راを決め、大学を中退。愛知県立芸術大学音楽学部_{音楽学部}に再入学し、研鑽を積む。

卒業後はフリーのヴィオラ奏者として演奏活動を開始。東京フィルハーモニー交響楽団の公演に数多く参加し、オーケストラやオペラ公演において、国内外で活躍。2005年11月には、東京フィル「未来へのフレンドシップツアー」と題した上海（中国）・韓国5都市の演奏旅行に参加。（指揮：チョン・ミョンフン）

2011年3月より、郷里である鳥取県に拠点を移す。ソロ・室内楽・オーケストラを中心に、積極的な演奏活動を行っている。特に室内楽に力を入れており、今後は弦楽四重奏を中心に音楽・演奏の普及に努めていきたいと考えている。

鳥取西高校管弦楽部・倉吉東高校オーケストラ部地域専門指導者、出雲芸術アカデミー（島根県出雲市）特任講師。

まるで声楽家が歌うような豊かな音色での演奏をモットーとしており、山陰でも貴重なヴィオラ奏者として、今後が大いに期待されている。

ながせ みき
コントラバス 永瀬美希



6月15日(金)・16日(土)

渋い組み合わせ！ 地をはうような低音の響き、間近での音はその振動で床までもが震えます。ヴィオラとコントラバスの組み合わせは中々聴ける機会はありません。素晴らしい低音のデュオをお楽しみ下さい。



たなはし きょうこ
ヴィオラ 棚橋恭子

6月22日(金)

ヴィオラが大活躍！ 今回はヴィオラの2重奏。人間の声に一番近いと言われる楽器から出る音は心地良く自然と身体で感じるができます。まさに、「声」そのもの。地元で活躍するヴィオラ奏者は、更なる音の深みを追及していきます。

なかばし よしえ
チェンバロ 中橋芳恵

6月23日(土)・29日(金) 7月6日(金)・13日(金)

ヴィオラとチェンバロのデュオ。音量バランスのとれたナチュラルな音色。現代ピアノとはまた違うテイストの演奏をご堪能し、リラックスしたひと時を・・・。



ひがしかた あけと
ヴァイオリン 東方暁杜

ふじえ ちか
ヴィオラ 藤江千夏

7月7日(土)

七夕コンサート
未来をになう若い演奏家たちが主役のステージ。彼らはどんな願いを音に込めるのでしょうか？



あしはら みつる
ヴァイオリン 芦原充

7月20日(金)・21日(土)

王道を聴かせます！ ヴァイオリンとヴィオラ、たった2本の楽器から炸裂する音楽は濃くエキサイティングです。そして、イザイの独奏は一番の聴きどころ。

弦楽器の王道を是非お聴き下さい。

